

重点課題

【課題1】 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。(正答率28.8%)

【課題2】 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。(正答率30.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】 文章全体を読みとる場面で、具体と抽象に着目した授業展開ができるように指導する。
例えば、本文を通読する場面で異なる立場の説明を読み比べ、筆者の見方や考え方を捉える。

【課題2】 毎時間単元に入る前に必ず音読をし、筆者の考えを読み取り自分の意見や考えをもつ。

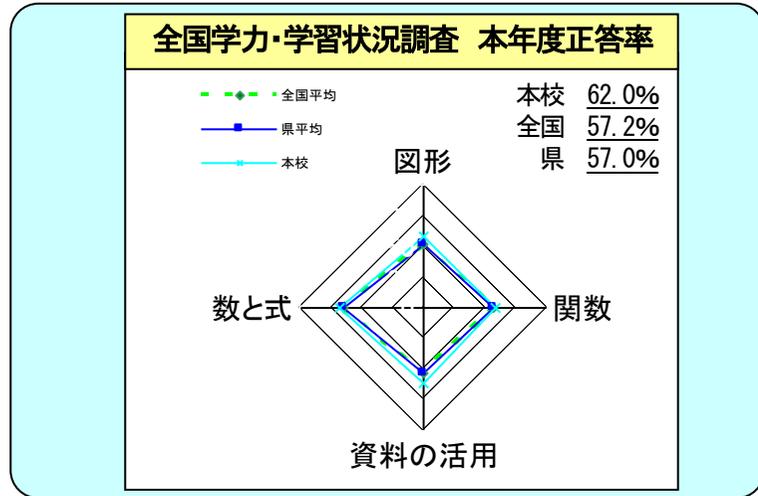
※ 小中一貫した取組については、重点課題を中学校区の課題としてとらえ、小中一貫として取り組む内容を中学校区で統一する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生 全国学力調査の類題		3年生 全国学力調査の類題	
目標値				30%		35%	
実施後数値				40.8%		39.3%	

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生 全国学力調査の類題		3年生 全国学力調査の類題	
目標値				40%		40%	
実施後数値				41.7%		49.0%	

来年度に向けて

類題を提示し、繰り返し音読することで、作品の背景や作者の心情を読み取ることができ、自分の考えをもつことができた。来年度は、作品を音読する時に、キーワードになる語には線を引く作業を取り入れていく。



重点課題

【課題1】データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。(16.2%)

【課題2】数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる(29.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】説明する力が不足していることから、単元別のレポート課題を提出させる。そこで、文章力、読解力を身につけさせる。

【課題2】説明する力が不足していることから、単元別のレポート課題を提出させる。そこで、文章力、読解力を身につけさせる。

小中一貫した取組については、重点課題を中学校区の課題として捉え、小中一貫として取り組む内容を中学校区で統一する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生 全国学力調査の類題		3年生 全国学力調査の類題	
目標値				20%		25%	
実施後数値				29.7%		45.7%	

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生 全国学力調査の類題		3年生 全国学力調査の類題	
目標値				35%		40%	
実施後数値				44.7%		49.5%	

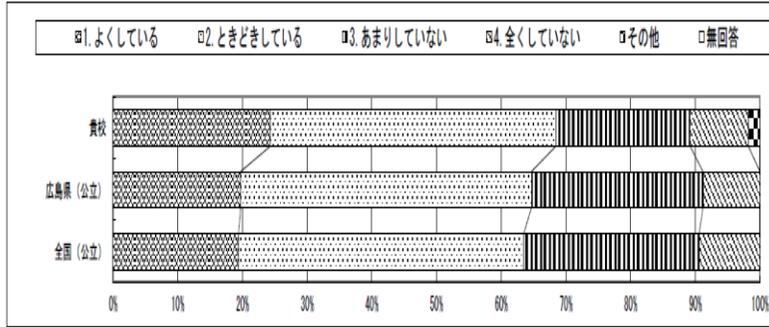
来年度に向けて

類題を出すことで、文章力、読解力がついてきたと感じる。来年度は、1問1答の発問だけでなく、授業の中で、数学的な表現を使って説明することができるよう、授業改善をしていくことが必要だと考える。

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

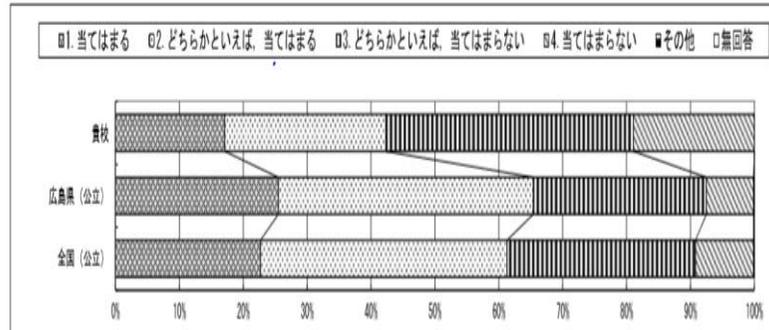
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



	生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	全国学力・学習状況調査における「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」との問いに対する肯定的な回答は68.4%であり、国や県の平均と比べて4～5ポイント上回っているが、高い数値とは言えない。	各学期に実施予定の『学習観レベルアップ講座』で、予習・復習の効果や重要性について啓発していく。また、定期試験前に試験勉強の計画表を作成させることで、計画を立てて学習することの良さを実感させたい。	1	73%	生徒アンケート	11月	74.6%

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか



	生徒の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	全国学力・学習状況調査における質問番号(48)「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」との問いに対する肯定的な回答は42.3%であり、国や県の平均と比べて19～23ポイントも下回っている。	聞き手に内容の価値や魅力がしっかり伝わるような資料を作るために、材料の収集、取捨選択、根拠の適切さ、論理の展開などに注意して、話す内容の原稿作りに取り組む。またプレゼンテーションの方法などを実践的に行い、生徒が相互に批評しあい、友達の意見を自分の発表内容に生かせるような指導を行う。	2	68%	生徒アンケート	2月	83%
全国・学習意識等	全国学力・学習状況調査における「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」との問いに対する肯定的な回答は73.8%で、国や県の平均と比べて2～4ポイント下回っている。	『確かめ問題』や『チャレンジ問題』を解くときに、1つの解法だけでなく、他の生徒が考えた別解なども紹介するなどし、難しい問題でも、粘り強く課題解決に向けて取り組む態度を育てていく。	1	78%	生徒アンケート	2月	79.7%

数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

